

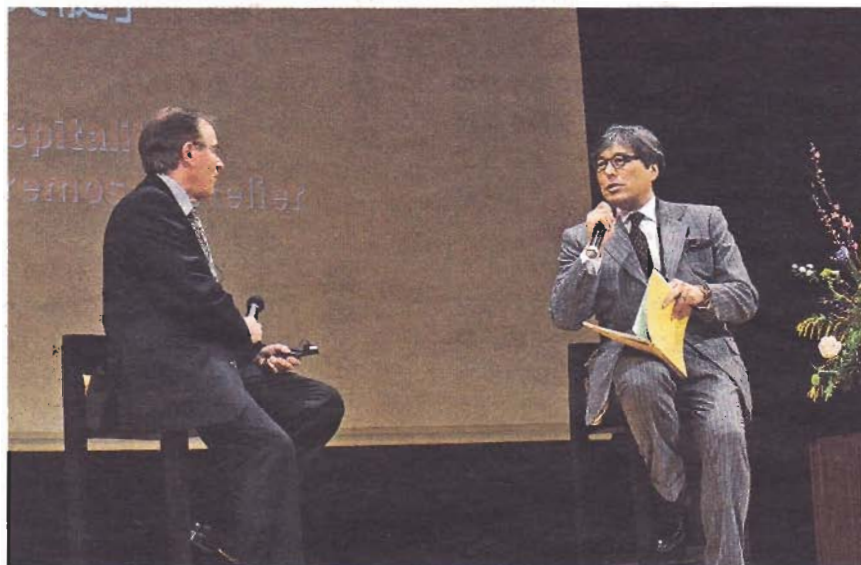
石川の魅力 世界富裕層に発信

著名人招き国際会議

富裕層を狙った観光客誘致が再び熱を帯びてきた。金沢市で開かれた「ラグジュアリーライフスタイル国際会議」は、食と滞在の世界的な権威を招いて、豊かな自然と伝統文化をはぐくむ石川県の魅力とグローバルなもてなしの神髄を探る意欲的な催しだ。

一時、大手旅行会社が相次ぎ富裕層

向け旅行プランを競ったものの金融危機後の景気低迷で尻すぼみになった。「ラグジュアリーライフスタイル国際会議」では、「リアルジャパン（本物の日本）」の情報発信によって、知的・文化的な好奇心の強い人たちに大都市にはない、新たな日本の魅力を訴える試みとなった。



ラグジュアリーライフスタイル国際会議で対談するザ・リッツ・カールトン創業者のホルスト・シュルツさん（左）と建築家の丹下憲孝さん＝2月27日、金沢市

ミシュランのガイド本で計6個の星を獲得、現在は東京、パリをはじめ世界主要都市にレストランを展開する伝説の料理人、アラン・デュカスさんはトークセッションで、「日本は伝統を大事にするが、現代的でもある。異なる文化と自分の文化が融合するまでには時間がかかるが、文化と文化が響き合うための懸け橋になりたい」と文化継承と変化の重要性を語った。

ほかにも、世界的なホテルチェーン「ザ・リッツ・カールトン」の創業者で、現在は新たなホテル事業に取り組むホルスト・シュルツさんや、世界的アーティストのアレクサンダー・ゲルマンさん、建築家の丹下憲孝さんらも出席。独自の視点からサービスの心や石川県の魅力について語った。

今回の国際会議は、政府が2009～10年度の地域活性化事業として推進してきた「地方の元気再生事業」の一環。金沢、加賀、七尾の3市が共同で、輪島塗や加賀料理など石川県の伝統文化を世界の富裕層に発信しようと企画した。

2年間の成果をもとに11年度以降も富裕層のニーズに応じた受け入れ態勢の整備課題解決に取り組んでいく方針だ。